

「地域とともに取り組む」 鳥取県日野総合事務所県土整備局



日野総合事務所県土整備局長

「子供たちが川へ行くにはどうすれば良いのか」という活動のひとつとして、日南町の日野小学校で、保護者、教員、子ども、県土整備局職員みんなが一緒になって草刈りを行い汗を流したという事があります。このように行政や地元の方々が一緒になって取り組みを進めていく活動を進めたいと思っています。また、「護岸整備により



川の学校

川に下りられなくなった」という声があり、安全に川に下りれる整備もしていく必要があると考えます。さらに、魚道整備にも取り組んできましたが、これからは渓流魚を対象とした河川整備、魚道整備にも取り組む必要があると思っています。

「生き物にやさしい川づくり」 鳥取県米子地方県土整備局



米子地方県土整備局長

昔、子どもの時には川で遊んだという思いが非常に強く残っています。そういう想いを今の子どもたちにも伝えたい。河川をきれいにするための取り組みは行われています。しかし、いちばん大切なのは川の水質です。これをきれいにしない限り、いくら魚を川に放流しても川で魚を見るということができません。そのためには、農作物の減農薬栽培、生活排水をきれいにするための下水等の整備が急がれます。鳥取県では、米子市を主に流れる加茂川で“多自然型川づくり”という事業を行っています。“多自然型川づくり”とは、川を改修前の生態系に戻し、生き物に優しい川づくりをする事です。鳥取県の河川事業は、治水、利水のみならず、後世にも受け継ぐべき生態系にも配慮した川づくりを行っていることを御理解いただければ幸いです。

「子どものフィールドづくり」 国土交通省日野川河川事務所



日野川河川事務所長

昨年の会議で、「子どもが川で遊べるようにしたい」「川に関心を持ってもらいたい」という話がありました。そのような想いに合わせて、“日野川のちびっこモニター”という取り組みを始めました。従来からある“川のモニター”という制度により、川に関して色々な意見をいただいています。それを今回は、大人の目ではなく子どもの目で行うという取り組みです。また、毎年行っている水生生物調査は、今年8つの小・中学校並びに団体によって実施しました。さらに、川を訪れた人による“川の通信簿”という取り組みも行っています。



法勝寺川源流調査

どうすれば“我が町のいい川”になるのか

今回、集まっていた皆さんの地域では川や水に対する取り組みが色々な形で行われていることは理解できたと思います。地域で色々な活動をされ、川の活動についても熱心にされている方々がおられます。皆がみな、すべからく川に入って親しんでもらえれば、それはありがたいにこしたことはありません。しかし、実際にはなかなか難しい事がたくさんあります。地域活動や川の活動について熱心な方々のご意見を伺い、地域住民・国・県・市町村とが連携を持ち一緒に行うことが地域の発展、意識の向上を作り出し、きれいな川・故郷の川を子どもたちへ残してやれるのではないのでしょうか。